

ごあいさつ



札幌市農業協同組合
代表理事組合長

須合 経一

日頃、みなさまには格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JAさっぽろは積極的な情報開示を通じて経営の透明性を高め、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、今年度の事業内容に関するディスクロージャー資料『JAさっぽろディスクロージャー2026』を開示いたしました。みなさまが取引金融機関を選択する際の判断材料として、また、当JAの地域貢献活動への取り組み、業績の推移などをご理解いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

○JAを取り巻く情勢

今日の農業を取り巻く情勢は、度重なる自然災害、不安定化する中東情勢の影響を受けて飼料、肥料、燃油等の農業資材の国際価格高騰や、円安の進行もあいまって、農業経営や畜産経営に大きな影響を及ぼしています。

経済情勢に関しては、企業の質上げの広がりや投資拡大により、景気は緩やかな回復基調を示している一方で、物価高が家計や企業経営を圧迫する一年でもありました。

○事業実績の状況

管内の農業は、融雪が順調にすすんだものの、春先の天候不順により作物や地域によっては農作物の播種・移植作業が大幅に遅れることとなりました。その後、全国的な異常高温と干ばつにより多くの作物に生育障害が見受けられ、収穫数量の減少や品質の低下など農産物に大きな影響を与えることとなりました。また出来秋の9月からは断続的な降雨に見舞われ、稲刈りをはじめとする収穫作業にも大きく影響しました。

信用・共済・相談事業につきましては、組合員・利用者とのつながり・対話に力を入れた活動により、事業利益では計画を大きく上回る成果を得ることができました。これもひとえに組合員みなさまのご利用、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

○みなさまへのメッセージ

令和8年度は、第6次中期3ヵ年経営計画および地域農業振興計画の実践2年目となります。引き続き重点テーマとして掲げた「農業の持つ価値の発信」のため、多様な担い手と共に地域農業の振興を図り、農業がすべての人の暮らしと深く結びついていることを考えるきっかけを発信し続けていきます。

何卒、組合員のみなさまのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。